

## 牛久市文化芸術推進基本計画(案) パブリックコメント実施報告

【閲覧期間】 令和8年1月23日(金)～2月20日(金)

【閲覧場所】 市ホームページ、(1)中央生涯学習センター (2)奥野生涯学習センター (3)三日月橋生涯学習センター (4)エスカード出張所 (5)ひたち野リフレプラザ市民窓口 (6)牛久運動公園 (7)中央図書館 (8)総合福祉センター (9)情報公開総合窓口(市役所本庁舎3階総務課)

【意見書の提出方法】 中央生涯学習センター(生涯学習課窓口)持参、郵送、FAX、Eメール

【意見書の提出数】 3名、38件(1人目:番号1～31、2人目:番号32、3人目:番号33～38)

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
1	計画全体	<p>本自治体の牛久現代美術展出演作家としての経験及びこれまでの作家活動等に基づき、本市の重要資源である文化財である(牛久シャトー『ラブライブ!』ロケ認定地)を、「保存」と「収益化」が循環するコンテンツ活用の拠点とすることを意見及び提案します。この意見及び提案は現在、小野田紀美 内閣府特命担当(クールジャパン戦略 知的財産戦略 科学技術政策 宇宙政策 人工知能戦略 経済安全保障)大臣のもとで強力に推進している「クールジャパン戦略=コンテンツ産業の基幹産業化」及び「ロケ誘致による地方創生」の方針に完全に合致するものです。</p> <p>【意見書その1より】</p>	<p>文化財の保存と活用については、文化財保護法及び関係法令に基づき、適切に進めてまいります。</p>	修正箇所なし
2	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	<p>「文化財保護(牛久シャトー)基金」への(寄付)を伴う聖地巡礼(コスプレ)イベント。イベント参加費に「文化財保護協力金」を組み込み、牛久市の基金へ寄付する仕組みを構築します。「ファンが聖地を守る」という参加型保護モデルは、税金に頼らない持続可能な文化財維持の先駆的な例となります。</p> <p>【意見書その1より】</p>	<p>文化財の保存と活用については、文化財の保存を第一としつつ、多様な手法の可能性を検討してまいります。</p>	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
3	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	意見者及び提案者による「イメージマップ」に基づいた高品質なコンテンツ制作 私が撮影者として、事前に「撮影イメージマップ(構成案)」を作成し、行政の監修を受けることで、文化財の安全性と尊厳を保った撮影を行います。私の知己である経験豊富なコスプレイヤーと連携し、自治体公認の広報素材として国内外に通用するクオリティのコンテンツを発信します。 【意見書その1より】	文化財を活用した広報活動については、文化財保護を前提に検討してまいります。個別の企画提案については、公平性・透明性を確保しつつ、本市の文化芸術振興の観点から検討してまいります。	修正箇所なし
4	P.37 第5章5-3「1 財源の確保」	国の方針(小野田大臣発言)に基づく官民連携の推進 小野田大臣は「クールジャパン戦略=コンテンツを力に、地域を活性化し、日本の稼ぐ力を引き出す」重要性を強調されています。牛久市が先んじてこのモデルを確立することは、国の方針を体現する先進事例(モデルケース)となりえます。 【意見書その1より】	国の施策動向を注視しながら、本市の文化芸術振興に資する補助金・助成金については積極的に活用を検討してまいります。	修正箇所なし
5	P.36 第5章5-2「3 姉妹都市・友好 都市との国際文 化交流」	友好都市グレーヴェ・イン・キアンティ市との交流 現イタリア女性首相「ジョルジャ・メローニ氏」が来日、同氏は「ラブライブ」の大原麻里をメローニ氏に見立てたファンアートを使ったキャンペーンを支持者たちが展開。本人もアニメ好きで度々アニメについて語ることがあったことが票を得ることに繋がったものとされる。アニメの力で誕生したイタリア首相に、海外からは多くのコメントが寄せられており、牛久市の友好都市「グレーヴェ・イン・キアンティ」市民らとの交流の一環とし、同市に牛久の魅力+コスプレを体験させSNS等で世界中に配信! 【意見書その1より】	友好都市との文化交流については、相互の文化を尊重しつつ、関連部署等と連携して具体的な施策を検討してまいります。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
6	P.29 第4章4-1「6 文化芸術団体への 支援と連携」	牛久市出身(乾 曜子氏)への提案 「中野腐女(ふじよし)シスターズ」のメンバーであった、牛久市出身乾 曜子氏「株式会社PPエンタープライズ東京都世田谷区松原3丁目30 番10号代表取締役社長」へ本件の意見及び提案をし、オタク文化の心 得、コスプレイベントへの意見等を募る。同社においてコスプレ界隈の 女王と称される「えなこ氏」が所属。「えなこ氏」は内閣府クールジャパ ン広報大使に任命されております。 【意見書その1より】	特定の個人・企業との連携については、公平 性・透明性を確保しつつ、本市の文化芸術振興 の観点から検討してまいります。	修正箇所なし
7	P.37 第5章5-3「1 財源の確保」	ふるさと納税の返礼品 牛久市の近隣つくばみらい市において、ワープステーション江戸の敷 地を利用し、ふるさと納税の返礼品として「コスプレ参加権」を選択し ており、牛久市には文化財としての牛久シャトーがあり、歴史的な資産 保護及び納税による収益も望めます。 【意見書その1より】	ふるさと納税返礼品については、総務省の基 準に適合し、本市の特性を活かした魅力的な返 礼品の開発が行えるよう、関連部署と連携して 検討してまいります。	修正箇所なし
8	計画全体	協議会等への出席・説明の申し出 本意見及び提案の実現に向けた「ルール作りやガイドライン策定」のた め、検討会や協議会が設置される際には、ぜひ専門的知見を持つ作 家・撮影者の立場から参加し、直接説明させていただきたいと考えて おります。 【意見書その1より】	本計画の推進並びに文化芸術事業の運営改善 にあたっては、「牛久市文化芸術推進審議会」を 設置し、施策の進捗管理や評価を行ってまいり ます。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
9	P.37 第5章 5-3「1 財源の確保」	<p>国策との連動及び外部財源(補助金)の獲得について            現在、国は小野田紀美担当大臣の下で、コンテンツ産業を基幹産業と位置づけ、地域資源とコンテンツを掛け合わせた地方創生を強力に推進しています。本提案は内閣府の「コンテンツ地方創生拠点」構想や、文化庁の文化財活用関連補助金の採択基準にも合致するものです。自治体の持ち出しのみならず、これら国の補助金制度も積極的に活用することで、財政負担を抑えつつ、全国に先駆けた官民連携モデルを構築できる可能性が極めて高いと考えます。            【意見書その1より】</p>	<p>本市の文化芸術振興に資する補助金・助成金については、国の施策動向等を注視しながら、積極的に活用を検討してまいります。</p>	修正箇所なし
10	P.29 第4章 4-1「6 文化芸術団体への支援と連携」	<p>一般社団法人化による持続可能な運営体制の構築            現在の行政主体による美術展運営(以下、牛久現美とする。)は、予算の単年度主義や人事異動による専門性の断絶といった課題を抱えています。本市の文化資源(『ラブライブ!』ロケ認定地等)を最大限に活用し、国(小野田大臣)が推進する「コンテンツ産業の基幹産業化」に呼応するためには、高い専門性、迅速な意思決定、及び収益事業が可能な「一般社団法人」への運営移行への意見及び提案をします。            【意見書その2より】</p>	<p>文化芸術事業の運営体制については、持続可能性と専門性の確保の観点から検討してまいります。</p>	修正箇所なし
11	P.37 第5章 5-3「1 財源の確保」	<p>法人化による具体的メリット            「稼ぐ文化行政」への転換と財源確保            行政の一般会計では困難な「イベント収益」や「グッズ販売」、「企業スポンサーシップ」の受け入れを柔軟に行います。ここで得た収益を直接、文化財保護基金や(牛久現美)へ再投資する「循環型モデル」を確立します。            【意見書その2より】</p>	<p>事業の財源確保については、多様な手法を検討してまいります。</p>	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
12	P.37 第5章5-3「1 財源の確保」	法人化による具体的メリット 国策(補助金・支援策)の積極活用 内閣府や文化庁が推進する官民連携プロジェクトの採択を受けるための「民間の受け皿」として機能させます。国からの外部資金を積極的に獲得し、市税に頼らない自走型の運営を目指します。 【意見書その2より】	本市の文化芸術振興に資する補助金・助成金については積極的に活用を検討してまいります。	修正箇所なし
13	P.29 第4章4-1「6 文化芸術団体への支援と連携」	法人化による具体的メリット 専門家(作家・クリエイター)主導のクオリティ管理 (牛久現美)に参加実績のある作家やコンテンツ制作の専門家を理事・運営陣に迎え、ロケ地としての世界観を守りつつ、イメージマップに基づいた高品質なコンテンツ制作を監修し、自治体のブランド価値を毀損させない「責任ある運営」を行えます。※牛久市出身(乾 曜子氏)への提案及び理事への依頼も! 【意見書その2より】	文化芸術団体の運営については、専門性と公平性のバランスを考慮しながら検討してまいります。	修正箇所なし
14	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	具体的な事業イメージ 【聖地巡礼・コスプレイベントの公認運営】 参加費から文化財保護協力金を徴収・寄付する事務局機能。 【ロケ誘致(牛久フィルムコミッション)撮影支援事業】 イメージマップの審査や現場立ち会い、著作権管理の窓口業務。 【次世代クリエイターの育成】 (牛久現美)を軸とした、若手作家や関係人口の創出拠点化。 【意見書その2より】	文化財の活用や観光振興については、文化財保護を前提に、多様な可能性を検討してまいります。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
15	P.29 第4章4-2「1 文化活動団体の 支援、団体間の 連携強化」	協議会及び法人設立に向けた申し出 本提案の実現に向け、行政、有識者、作家による「美術展運営改革協議会(仮称)」の設置を求めます。私自身、これまで牛久市の芸術展に参加してきた作家の立場から、法人の設立準備や定款の策定、国への補助金申請プランの提示等に積極的に参画し、直接説明させていただく準備がございませう。 【意見書その2より】	本計画の推進並びに文化芸術事業の運営改善にあたっては、「牛久市文化芸術推進審議会」を設置し、施策の進捗管理や評価を行ってまいります。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
16	P.37 第5章5-3「1 財源の確保」	<p>ふるさと納税を活用した「聖地守り人(サポーター)」制度の創設、ふるさと納税を原資とした「文化財活用イベント」の実施</p> <p>1)牛久市のふるさと納税の使い道として、明確に「ラブライブ!認定ロケ地(文化財)の保護及び活用事業」を指定できるメニューを新設します。</p> <p>【体験型返礼品の提供】</p> <p>「ふるさと納税の寄付者限定」で、通常非公開のエリアでの撮影許可や、私が監修する「プレミアム撮影イベント」への招待権を返礼品として提供します。これにより、高単価な寄付(数万円～数十万円単位)を全国のファンから募ることが可能です。</p> <p>【押し!を通じた直接支援】</p> <p>「自分の寄付が、あのアニメの舞台を守るために使われた」という実感(証書の交付や名前の掲示など)を与えることで、単なる節税対策ではない、熱量の高い継続的な支援者(関係人口)を創出します。</p> <p>2)一般社団法人が担う「返礼品開発とプロモーション」</p> <p>提案している「美術展運営の一般社団法人」が、行政に代わって返礼品の企画・運営を担います。</p> <p>作家の視点で「ファンが本当に望む体験(イメージマップに基づいた特別な撮影環境)」を企画。</p> <p>国(小野田大臣)が推奨する「コンテンツを活用した地域産品の磨き上げ」として、国の補助金とふるさと納税を掛け合わせた、ハイブリッドな財源確保を実現します。</p> <p>【意見書その2より】</p>	<p>特定の作品に関連する施策については、著作権の権利関係の整理等が必要となることから、慎重に検討してまいります。</p>	<p>修正箇所なし</p>

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
17	P.28 第4章4-1「2 発表・鑑賞する 機会の提供」	30年の歴史を持つ本市の「うしく現代美術展(以下美術展とする。)」を基盤に、「伝統的芸術技法」と「現代コンテンツ文化(コスプレ等)」を融合させた、収益型の美術展及び実践ワークショップ及び共同制作プロジェクトを導入すべきである。 【意見書その3より】	うしく現代美術展の内容については、従来の伝統的な芸術手法を尊重しつつ、時代に応じた多様な表現の可能性を検討してまいります。	修正箇所なし
18	P.28 第4章4-1「2 発表・鑑賞する 機会の提供」	既存事業のマンネリ化打破と知名度の向上 30年継続している(美術展)の課題である観覧者の固定化と知名度の限界を打破するため、世界的に波及力の強いコスチューム・プレイヤー(コスプレイヤー)を「公認モデル」として招聘することを提案する。本市の作家が「彼ら(彼女ら)」をモデルに作品を制作・発表するプロセスを公開することで、伝統技法とポップカルチャーの融合という新たな芸術価値を創出し、SNSを通じた爆発的な情報発信を図るべきである。 【意見書その3より】	うしく現代美術展の広報強化については、多様な手法を検討してまいります。コスプレ等の文化については、文化芸術の幅広い活動の一つとして捉え、本市の文化芸術振興の観点から具体的な施策を検討してまいります。	修正箇所なし
19	P.29 第4章4-1「6 文化芸術団体へ の支援と連携」	牛久市出身(乾 曜子氏)への提案及び連携 本施策の実施にあたっては、本市出身乾曜子氏「株式会社PPエンタープライズ東京都世田谷区松原3丁目30番10号代表取締役社長」へ本件の意見及び提案をし、オタク文化の心得、意見等を募る。 【意見書その3より】	特定の個人・企業との連携については、公平性・透明性を確保しつつ、必要に応じて検討してまいります。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
20	P.37 第5章5-3「1 財源の確保」	「稼ぐ文化行政」への転換と作家の収益確保 本プロジェクトを「ふるさと納税」の返礼品と連動を提案する。 【返礼品の開発】 著名レイヤーをモデルに本市作家が制作した「限定複製画」や「ワークショップ参加優先権」等を返礼品として設定する。 【作家への還元】 全国からの寄付金を活用することで、市予算に依存せず、作家の技術に対する正当な制作対価(報酬)や指導料を支払う仕組みを構築し、持続可能な文化芸術の振興を図るべきである。 【意見書その3より】	ふるさと納税返礼品については、総務省の基準に適合し、本市の特性を活かした魅力的な返礼品の開発が行えるよう、関連部署と連携して検討してまいります。	修正箇所なし
21	第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	クールジャパン戦略の地方実装 国のクールジャパン戦略を地方レベルで具体化し、本市の豊かな歴史的景観や芸術資源を「コンテンツの背景・ラブライブの(聖地)」として再定義することで、関係人口の創出及び将来的な観光インバウンドの獲得を目指すべきである。 【意見書その3より】	観光振興や地域経済活性化については、関連部署と連携して効果的な手法を検討してまいります。	修正箇所なし
22	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	アニメ「ラブライブ」・公式大使を活用した地域経済活性化施策及び(ふるさと納税)を財源とした観光振興事業の提案 本市の公式大使である「絵森彩氏(鬼塚夏美役)及び坂倉花氏(鬼塚冬毬役)」を起用し、市内の重要文化財や観光地、さらには地元の飲食店を巡る「公式ロケ地巡礼写真集」の制作を提案します。本事業は(ふるさと納税)を原資とすることで公費負担を抑えつつ、関係人口の創出と市内飲食店への実客数増加を目指すものです。 【意見書その4より】	うしく広報大使に関する事業については引き続き検討してまいります。ふるさと納税返礼品については、総務省の基準に適合し、本市の特性を活かした魅力的な返礼品の開発が行えるよう、関連部署と連携して検討してまいります。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
23	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	具体的な施策案 「食」と「観光」を融合させたロケの実施 【歴史・文化発信】 牛久シャトー、柏田神社、牛久大仏等の主要スポットでの撮影を通じ、本市の歴史的魅力を発信。 【地域経済への貢献(飲食店ロケ)】 市内の飲食店にて、大使が実際に地場産品を食するシーンを撮影・紹介する。これにより、ファンが「大使と同じメニューを食べる」という目的で来店する動機付けを行う。 【意見書その4より】	観光振興や地域経済活性化につながる取組については、関係部署や関係団体と連携しながら検討してまいります。	修正箇所なし
24	P.37 第5章5-3「1 財源の確保」	[ふるさと納税限定「公式ロケ地ガイド兼写真集」の発行] 撮影した写真をもとに、市内の周遊を促すマップ(QRコード)を付記した豪華写真集を制作。これを(ふるさと納税)の返礼品とすることで、全国のファンから制作原資(寄付金)を募る。 【意見書その4より】	ふるさと納税返礼品については、総務省の基準に適合し、本市の特性を活かした魅力的な返礼品の開発が行えるよう、関連部署と連携して検討してまいります。	修正箇所なし
25	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	【店舗連動型プロモーション】 ロケを行った飲食店等に、大使のサインや写真集のアザーカット等を掲出するなどの連携を図り、市内全域を「屋根のない博物館(フィールドミュージアム)」に見立てた回遊性を構築する。 【SNS連動】 写真集ロケ地やロケ協力店舗に(QRコード)を付記し、大使の公式SNSや、協力店舗のSNS等に誘導。 【意見書その4より】	市内の回遊性向上や地域経済の活性化につながる取組については、関係部署や関係団体と連携しながら検討してまいります。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
26	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	<p>提案の妥当性とメリット</p> <p>【地域経済への直接的な波及効果】 写真集で飲食店を紹介することで、単なる「通過型観光」から「滞在・消費型観光」への転換を促す。これは内閣府「クールジャパン戦略」が目指す「地域経済への波及」の好例となる。</p> <p>【ふるさと納税の競争力強化】 「本市の大使」が「本市の店舗」で活動する姿は、他自治体には真似できない唯一無二の地場産品(付加価値)となり、寄付額の飛躍的な増加が見込める。</p> <p>【官民連携の推進】 市が主導して飲食店等を巻き込むことで、地域住民や商工会の理解と協力を得やすく、シビックプライド(郷土愛)の醸成にも繋がる。</p> <p>【意見書その4より】</p>	<p>観光振興や地域経済活性化については、関連部署と連携して効果的な手法を検討してまいります。</p>	修正箇所なし
27	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	<p>【意見の主題】 アニメ文化を活用した地域活性化と、次世代育成・空き店舗対策を統合した「牛久市公認・ロケ地巡礼エコシステム」の構築について!</p> <p>【提案の背景】 本市が『ラブライブ!スーパースター!!』のロケ地として選ばれている現状は、国内外の若年層を呼び込む大きな好機です。一方で、ロケ先店舗(石塚商店)の閉店や、ファンの流入による近隣住民への影響といった課題も存在します。これらを一括して解決し、文化芸術を基軸とした持続可能な街づくりを提案します。</p> <p>【意見書その5より】</p>	<p>観光振興や地域経済活性化については、関連部署と連携して効果的な手法を検討してまいります。</p>	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
28	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	観光資源の統合:ハイブリッド型ロケ地巡礼ツアーの策定 内容:「牛久大仏」「牛久シャトー」という既存の日本遺産・ランドマークに、作品ゆかりの「鬼塚商店の舞台となった(実店舗:石塚商店)」を加えた、公式巡礼ルートを策定します。 狙い:伝統的な観光とサブカルチャーを掛け合わせ、市全体の滞在時間延長と回遊性を高めます。 【意見書その5より】	観光資源の活用については、本市の多様な魅力を発信する観点から、関連部署等と連携して検討してまいります。	修正箇所なし
29	P.28 第4章4-1「3 学校教育との連 携」	空き店舗の再生:地元高校生による「拠点運営」と「キャリア教育」 内容:現在閉店しているロケ先の店舗を、市内の高校生が主体となって運営する「地域文化・交流拠点」として再生します。 運営体制:学生主体(仮称:オタク部/地域活性化部):企画、接客、SNS発信、ファンとの交流。大人のアドバイザー(商工会・観光協会(牛久市を含む)):金銭管理、防犯、著作権元との折衝、近隣住民への説明等のバックアップ。 狙い:空き店舗対策と同時に、若者の郷土愛を育み、実践的なビジネス感覚を養う「アントレプレナーシップ教育」の場とします。 【意見書その5より】	次世代育成や若者の地域参画の促進は重要な課題と認識し、施策として位置づけております。ご提案については、教育的効果、継続性等の観点から、関係部署等と連携して検討してまいります。	修正箇所なし
30	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	公認制度の導入:近隣住民との共生とマナー維持 内容:「牛久市公認ロケ地巡礼制度(事前登録制)」を導入します。 仕組み:巡礼希望者は事前に市(又は学生運営拠点)で登録を行い、公認証(缶バッジやパス等)を取得。「公認証保持者のみ!」に、指定エリアでのコスプレ撮影や店舗での限定特典を許可。登録時に「住民への配慮・騒音防止」のガイドラインを徹底させましょう。 狙い:「許可を得た者」を可視化することで、住民の不安を解消し、秩序ある観光を実現します。(※ふるさと納税の返礼品としての活用も!) 【意見書その5より】	観光客の受入れについては、地域住民の生活環境保全と観光振興の両立を図る観点から、関連部署等と連携して総合的に検討してまいります。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
31	P.31 第4章4-5「1 観光と連携した 施策」	<p>地域経済への還元と持続可能性 内容:運営収益や関連グッズの売り上げの一部を、周辺環境の整備(清掃・街灯設置等)や地域コミュニティ活動に寄付します。 狙い:「アニメファンが来ることで街が綺麗になる、豊かになる」という好循環を生み出し、市民全体がイベントを歓迎する土壌を作ります。 【結びに代えて】 本提案は、アニメ作品を一時的なブームで終わらせるのではなく、牛久市の未来を担う若者の教育と、地域経済の活性化、そして住民の安心を高い次元で両立させるものです。市と民間、そして学生が三位一体となった「牛久モデル」の構築を強く要望いたします。 【意見書その5より】</p>	<p>観光振興による地域への還元や地域コミュニティの活性化については、持続可能な仕組みづくりの観点から、関連部署等と連携して検討してまいります。</p>	修正箇所なし
32	P28 第4章 4-1 1 講座やイベントの充実	<p>2026年は市政40周年おめでとうございます。私はご縁があり25年前に引越し、転居してお世話になっております。初めての土地でしたが牛久は水害もなく山くずれもなく気候も温暖でその上皆やさしい人たちでしたので今迄たのしくすごしております。 今般の文化芸術推進計画につき高齢ですが一言のべたいと思います。今後のイベントとして「なんでも鑑定団」「のど自慢」等を計画されていますが、一応は牛久市は後援の形になっています。私は市民全員が一堂に会してお喜びするのが良いのではないかと思います。 それに牛久としては夏に開催されるかっぱまつり、今迄はかっぱパレードとしてとりくんできましたが、市民一同が一堂に会する記念の一部として牛久市民が一緒になって踊れる(パレードでなく、輪踊り等で)なるべく市民全体が参加できるイベントある事希望します。</p>	<p>市民参加型のイベントの充実が計画の方針や施策としても掲げさせていただいているところですので、積極的に多くの市民が参加できる取組を検討してまいります。</p>	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
33	全体(体裁・レイアウト)	本素案は全体として書面が見づらく、読み進める上で負担を感じました。第1期計画と比較すると、視認性・可読性の面で改善の余地があると考えます。パブリックコメントは広く市民の意見を求める制度である以上、より読みやすい書面設計への配慮を要望いたします。	ご意見を踏まえ、最終版作成にあたり、デザインや視認性に関しては市民の皆様により読みやすいよう、検討いたします。	修正箇所なし
34	第2章 2-2 第1期計画の検証と課題	第1期計画の検証結果に関する記述が極めて限定的である点が気になりました。 第1期計画「1-3 基本計画の進行管理」には、・評価方法、・評価周期、・指標例 が明確に示されています。 しかしながら、実際の評価結果、指標に対する達成状況、成果および課題が十分に示されておらず、第2期計画の妥当性を判断する材料が不足していると感じました。 特に「事業評価は1年ごとに行う」とされている以上、その評価結果を明示していただきたいと考えます。 第1期計画の成果および課題が可視化されてこそ、第2期計画への建設的意見が可能となります。評価結果の開示・記載を要望いたします。	第1期計画の評価・検証は諮問機関である「牛久市文化芸術振興審議会」を定期的実施し、その結果を議事概要として公表しています。 第2期計画である牛久市文化芸術推進基本計画の進行管理にあたっては、「牛久市文化芸術推進審議会」においての進捗状況の確認と中間評価を行ってまいります。	修正箇所なし
35	資料編 関係団体アンケート調査結果	文化芸術団体へのアンケート結果のみでは、市全体の文化実態を把握するには限定的であると感じました。 そもそも、文化芸術団体の選定基準、何をもって文化芸術団体と定義するのかが明確ではないように見受けられます。 対象範囲および定義の整理が示されない場合、調査結果の客観性や妥当性の判断が難しくなると考えます。 定義および選定方法の明確化を要望いたします。	ご指摘のとおり文化芸術団体へのアンケートは市内の文化芸術活動の一部であると認識しております。今後、上位計画において成果指標としている「文化芸術に親しんでいる市民の割合(市民満足度調査)」などを指標としつつ、市全体の文化実態把握に取り組んでまいります。 また、4年後の中間見直しの年に、市民対象のアンケートを行います。	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
36	第1章 1-2 計画策定の目的と位置づけ 第3章 3-1 某本理念とビジョン	<p>本素案は「文化芸術推進基本計画」であり、文化の中でも特に芸術分野に焦点を当てた計画として整理されているものと理解しております。その前提に立った上で意見を申し上げます。</p> <p>文化芸術政策においては、既存の歴史的資源や継承されてきた活動の位置づけが重要であることは言うまでもありませんが、それと同時に、現在進行形で生まれつつある表現や活動をどのように捉えるかという視点も極めて重要であると考えます。文化は過去から受け継がれてきたもののみで構成されるのではなく、今まさに始まる活動や新しい試みもまた、将来的には地域文化を形づくる要素となり得ます。言い換えれば、「今ここで始まるものが、100年後の文化になり得る」という視点を、計画の中でより明確に意識することが必要ではないでしょうか。</p> <p>新たな表現活動や創造的な取り組みを文化芸術政策の射程に適切に位置づけ、育成・支援していく考え方の整理を要望いたします。</p>	<p>ご意見を踏まえ、新たな表現や創造的な活動を捉え、担い手を育成・支援していく視点がより伝わるよう、計画全体の表現の工夫に努めます。</p>	修正箇所なし
37	第4章 4-2 方針2:文化芸術を支えるつながりの支援・情報発信に基づく施策	<p>素案ではボランティアガイドに関する施策が示されていますが、今後の文化および観光政策の観点からは、有償ガイドの育成、付加価値型ガイドプランの構築といった視点も重要であると考えます。</p> <p>単なる案内ではなく、「対価を支払う価値のある体験」を提供できる人材の育成が、文化芸術の社会的価値の向上にもつながるものと考えます。</p> <p>検討・整理を要望いたします。</p>	<p>ご意見を踏まえ、ボランティアガイドに加え、有償ガイドや体験価値の高いガイドプランの可能性についても、関係部署・関係団体と連携しながら検討していきます。</p>	修正箇所なし

番号	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま記載)	回答	修正内容
38	第2章 2-2 第1期計画の検証と課題	<p>本素案を拝読し、第1期計画との関係性について疑問を感じました。第1期計画においては、当時認識されていた様々な課題(第1期以前から継続していた課題も含む)に対し、改善・解決を目指す方向性が示されていたものと理解しております。</p> <p>しかしながら、本素案に示された施策内容は、第1期計画と類似する記述が多く見受けられ、第1期で整理された課題がどの程度解決されたのか、未解決課題に対する新たな対応策は何か、なぜ同様の施策構成となっているのかが明確ではないように感じました。</p> <p>特に、史跡の利活用に関する施策についても、第1期計画との実質的な差異が読み取りにくく、従来施策の延長のみで、課題解決が十分に可能であるのかという点に疑問が残ります。</p> <p>計画の継続性は重要である一方、何が改善されたのか、何が新たな対策なのか、どの課題をどの施策で解決するのかといった整理が、より明確に示されることを要望いたします。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、上位関連計画や関係する法令に従い、全面的に内容の見直しを行っております。一方で、少子高齢化や文化芸術活動の多様化が進む中、牛久市の文化芸術を取り巻く課題は多様化しており、いっそう注力して取り組むものと認識しております。</p> <p>具体的な第1期計画の成果と課題は計画案の「第2章 2-2 第1期計画の検証と課題」に示すとおりとなっております。</p>	修正箇所なし